

事業報告書

団 体 名	畑野町自治会
事 業 名	ふるさと再生「市民農園」開設事業
【具体的な内容】 畑野町の活性化を図るためにはどうすればよいかをテーマに「町村おこし推進委員会」を平成２０年度に立上げ、検討を重ねてきました。京都学園大学の中川教授に先進地域の取組の紹介や今後地域の活性化を図る取組の方向性などについてアドバイスをいただき、畑野町の資産を活用した取組を進めることが基本であることを再認識しました。 この畑野町は、自然豊かな地域であり、農家と非農家世帯が混在する地域でもあります。こうした地域の特性を生かした取組として「市民農園」を開設し、都市にお住まいの方々と地域住民との接点の役割を持たせ、取れた野菜などを使った交流会の開催、地域の文化祭に招待するなどの交流の場を持つことで、都市にお住まいの方と地域の方々との輪を広げ、人と人との交流を深め、情報交換しつつ畑野町の良いところをアピールしながら、地域の活性化に繋げていきたいとの考えから取り組んでまいりました。 当初の計画の甘さから市民農園の開設手続きに手間取り、また、農小屋の建設に当たっては、農園の田んぼに建設することが法的に難しいとの結論が出るのに時間を要したため、開設するのに相当の遅れが生じましたが、平成２２年３月１日に「はたの貸農園「百笑 みのりの里」」として「市民農園」をオープンさせ、チラシ（別紙）を作成の後、池田市、箕面市、川西市を中心に２，０００枚を戸別に訪問して配布するとともに、インターネットに独自の募集ページを立ち上げると共に、亀岡市のホームページに掲載していただき広く募集を開始いたしました。その結果、平成２１年度内に「市民農園」借主を得ることができませんでした。３月の終わりごろから問い合わせをいただくようになり、平成２２年４月初で４件の借り手希望者を得ることができました。 この１年間こうした取組を進める中で、多くの地域住民の方々が町の活性化に対する思いを理解していただき、多くの方々のご協力が得られたことはこの取組の成果であると考えております。 今後、地域の活性化に向けて作付け指導や交流会の開催などを通じて畑野町の魅力を理解していただき地域の活性化に繋げていきたいと考えております。	
【効 果】 「市民農園」の開設に際し、多くに方々の協力を得て開設することができました。こうした取組を進めることで、地域のコミュニケーションが図られ絆を深めることができました。 今後、開設した「市民農園」を活用して都市にお住まいの方々と地域住民との交流会の開催などにより地域の活性化の起爆剤になるものと確信しております。	

※ 参考資料（記念写真、作成したチラシ、事業について掲載された新聞記事等）を添付してください。